

<目次>

ページ

- 2 初めに、この講座の基盤となっているものについて
- 4 目次

第一部

- 6 二種類の「国際化」と教育
- 9 三年生選択「国際理解」授業計画 (2002 年度)
一年間を通しての流れ 参加型学習
- 10 グローバル・スタンダードに基づく国際理解教育 (2001 年度版再録)
目的 歴史
- 12 体験的にわかった、総合講座の難しさ
- 14 授業に要する時間・教員の負担と必要な人数 (2002 年度)
- 15 平成 17 年度に、18 講座を開く場合の計算例
- 17 人権と国際理解

第二部

- 21 授業記録の内容について
一年間の授業展開

<一学期>

- 23 第一回「年間の展開の説明
(『小』から『大』へ) と、アイデンティティについて」
- 30 第二回「アイデンティティとステレオタイプ」
- 41 第三回「人と人、関係の持ち方」
- 49 第四回「あっていい違い、いけない違い」
- 61 第五回「身近な偏見・ジェンダー問題」
- 68 第六回「世界各地の写真から読みとる」
- 75 第七回「ビデオを見て、考える その 1」
- 82 第八回「ビデオを見て、考える その 2」
- 87 第九回「カレーを手で食べてみよう」
- 93 第十回「一学期のまとめ ステレオタイプと偏見を打破する」
- 97 一学期末アンケート
- 103 第十一回「風土と、文化」

<二学期>

- 105 第十二・十三回「絵本『世界がもし 100 人の村だったら』 part 1」
- 126 第十四・十五回「絵本『世界がもし 100 人の村だったら』 part 2」
- 146 第十六回「識字問題」

- 157 第十七回「所得 (開発教育協会作成「一杯のコーヒーから」を利用)」
- 164 第十八回「日常生活と輸入品 (神奈川国際交流協会が日本語版にした Oxfam 作成の「世界からやってくる私たちの食べ物」を利用)」
- 169 第十九回「多様な価値観 (「価値観のオークション」: 書籍「地球市民を育む教育」を利用)」
- 177 第二十回「創作物語『よそ国』 その1 基本情報調査とコンピューター操作」
- 181 第二十一回「権利」
- 184 第二十二回「創作物語『よそ国』 その2 基本情報調査と、目的にあわせた調査」
- 185 第二十三回「創作物語『よそ国』 その3 これまでの調査を元にした物語作り」
- 188 二学期末アンケート

<三学期>

- 191 第二十四回「マッピング・問題解決への努力 (NGO 等について)」
 - 199 第二十五・二十六回「創作物語『よそ国』 その4・5 物語の打ち込み、編集・構成、完成」
- 学年末アンケート

第三部

- 208 学期末 創作プロジェクト『よそ国』 生徒作品集 一年間の展開について
- 209 生徒作品集 目次
- 210 プロジェクト『よそ国』の概要説明
- 214 (1) フィジーへ、農水産物の買いつけに行く
- 219 (2) スリランカへ、バンドのマネージャーとして行く
- 221 (3) デンマークへ、その国に住む高名な武道家と勝負しに行く
- 226 (4) セネガルへ、食べ物雑誌の取材に行く
- 232 (5) ルクセンブルグへ、旅行中の家族が病気になったから行く
- 235 (6) ネパールへ、自分の結婚式に行く (相手がその国の人)
- 242 (7) トルコへ、テレビ局の取材に行く
- 243 (8) 南アフリカへ、友人の結婚式に行く
- 249 (9) ポルトガルへ、現地の大学に留学する
- 259 (10) ラオスへ、野生生物の生態調査に行く
- 267 (11) ハンガリーへ、現地の芸術を学びに行く

- 270 一年間をふりかえって
- 271 参考書籍・問い合わせ先について